

また、平成20年7月7日から9日までの3日間の日程で北海道洞爺湖サミットが開催されたことに伴い、消防特別警戒部隊として5日から11日までの7日間に指揮隊8名、救助隊10名、予防警戒員2名の計20名を派遣し警戒活動等に従事し、平成20年9月10日に消防庁長官から褒状を授与された。

さらに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴い、緊急消防援助隊北海道隊として3月16日から5月1日まで宮城県石巻市へ救助隊や後方支援隊等、延べ21隊、人員71名を派遣し、行方不明者の捜索活動等に従事した。

平成30年中の火災発生状況については、火災件数59件、焼損床面積582平方メートル、死者5名で前年に比べ火災件数は約2パーセントの減となり、自治体消防発足以来最少件数であった。一方で、救急出場については、出場件数16,174件、搬送人員は15,241人となっており、前年に比べ出場件数で677件、搬送人員で604人増加し、出場件数、搬送人員とも救急業務開始以来最多となった。

平成30年度中の消防車両の整備については、水槽付消防ポンプ自動車1台、水難救助車1台、火災原因調査車1台、高規格救急自動車1台、消防広報車1台および小型動力ポンプ付積載車1台を更新した。

寄付採納として、一般社団法人北海道消防設備協会函館支部から火災予防啓発広報物品、日本中央競馬会函館競馬場からバックボード（傷病者全身固定用担架）、株式会社カネス杉澤事業所から消防連絡車1台の寄贈があった。